

「みずほバス」の概要

◇ 運 行 の 目 的

交通空白地帯を解消し、高齢者や障がい者等の交通弱者を含めたすべての人の移動を支援します。
また、過度な自動車依存を抑制し、交通渋滞の解消および環境負荷の軽減を目指します。

◇ 運 行 の 沿 革

- 平成11年10月 当時の穂積町で本田線、牛牧線の2路線で『ほづみバス』として運行を開始。
- 平成15年 5月 穂積町と巢南町が合併。
- 平成16年 5月 『みずほバス』と名称変更し、旧巢南地域に路線を拡大。
「本田・馬場線」、「牛牧・十七条線」、「鷺田・船木線」の3路線で運行開始。
- 平成17年 4月 みずほターミナル新設。
- 平成22年 4月 「牛牧・十七条線」がプラント6まで延伸して運行開始。
- 平成24年 4月 岐阜乗合自動車（株）（通称「岐阜バス」）営業路線「穂積リオワールド線」
を「瑞穂・北部線」と名称変更し、『みずほバス』の路線として運行開始。
『みずほバス』は4路線体制となる。
- 平成25年 4月 路線を再編し、「本田・唐栗線」、「十九条・古橋線」、「牛牧・穂積線」の3
路線で運行開始。
- 平成25年10月 ICカード乗車券「アユカ（ayuca）」の運用開始。
- 平成26年 5月 『みずほバス』車両を更新。
- 平成27年 9月 岐阜バスよりバス停ベンチの寄贈を受け、13か所に設置。
- 平成30年 1月 運転免許証自主返納者への運賃支援サービスを開始。
- 平成30年 4月 路線を再編し、「本田七崎線」、「馬場十七条線」、「十九条古橋線」、「牛牧穂
積線」の4路線で運行開始。
- 令和 3年 4月 「十九条古橋線」の経路変更及び「馬場十七条線」のダイヤを改正。
高齢者（75歳以上）を対象とした運賃割引制度「みずほバスシルバーカー
ド」の発行を開始。
- 令和 6年 4月 「馬場十七条線」のバス停変更及び各路線の最終便を減便。
回数券（1,000円11枚つづり）の発行を開始。
- 令和 6年10月 「牛牧穂積線」の経路変更及び「本田七崎線」のダイヤを改正。

◇ 運 行 業 者

瑞穂市と岐阜乗合自動車（株）で協定を締結し、瑞穂市の要請により岐阜乗合自動車（株）が運行。

◇ 乗 車 賃 等

大人：１００円、小人：５０円、乳児：無料
※回数券（１１枚つづり１，０００円）

◇ バ ス の 特 徴

バスは中型５台（定員５４人／台）とポンチョ２台（定員３０人／台）の計７台で、年末年始（１２月２９日～翌年１月３日）以外は毎日運行しています。ただし、平日ダイヤと休日ダイヤ（土・日・祝日）があります。

J R穂積駅を起点とし、公共施設、病院、商業施設等が利用できるように幹線道路を中心に市内全域を安全に走行できる道路を路線としています。



みずほバス(中型)



みずほバス(ポンチョ)

◇ 主なバス利用者

朝夕は、通勤・通学のためにJ R穂積駅に向かわれる方が多く利用されています。

その他の時間帯は、主にスーパーマーケットでの買い物や病院への通院、公共施設でのイベント参加等で多く利用されています。

◇運 行 ル ー ト

① 本田七崎線

- (1) 運行所要時間 54分
- (2) 運行距離 20.9km
- (3) 停留所数 35ヶ所
- (4) 1日の運行便数 左回り5本(土・日・祝日4本)
右回り4本(土・日・祝日4本)

② 馬場十七条線

- (1) 運行所要時間 41分
- (2) 運行距離 13.8km
- (3) 停留所数 29ヶ所
- (4) 1日の運行便数 左回り5本(土・日・祝日5本)
右回り6本(土・日・祝日5本)

③十九条古橋線

- (1) 運行所要時間 48分
- (2) 運行距離 19.7km
- (3) 停留所数 30ヶ所
- (4) 1日の運行便数 左回り5本(土・日・祝日4本)
右回り5本(土・日・祝日5本)

④ 牛牧穂積線

- (1) 運行所要時間 44分
- (2) 運行距離 18.0km
- (3) 停留所数 32ヶ所
- (4) 1日の運行便数 左回り6本(土・日・祝日5本)
右回り5本(土・日・祝日5本)